

高校フロントランナー改革 学びの改革 基本構想（案）

関 連 資 料 一 覧

- 資料1 学習指導要領改訂の方向性（案）
（中央教育審議会「次期学習指導要領等に向けた審議のまとめ」参考資料から）
- 資料2 主体的・対話的で深い学びの実現
（「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）について（イメージ）（案）
（中央教育審議会「次期学習指導要領等に向けた審議のまとめ」参考資料から）
- 資料3 「信州学」推進事業
- 資料4 長野県公立高等学校の配置図（平成28年度）
・全日制課程および多部制・単位制の設置校配置図
・職業教育を主とする専門学科および総合学科の設置校配置図
・定時制課程・通信制課程の設置校配置図
- 資料5 長野県内中学校卒業予定者数の推移
- 資料6 長野県公立高等学校募集学級数別一覧（平成29年度全日制課程）

学習指導要領改訂の方向性（案）

新しい時代に必要な資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要な資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など
各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

※高校教育については、新たな事業的知識の習得が大学入学を前提で開かれることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革を進める。

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成
知識の量を削減せず、質の高い
理解を図るための学習過程
の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び



主体的・対話的で深い学びの実現 （「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）について（イメージ）（案）

「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、子供たちが学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたってアクティブに学び続けるようにすること

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

【例】

- ・ 学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
- ・ 「キャリア・パスポート（仮称）」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする



主体的な学び

対話的な学び

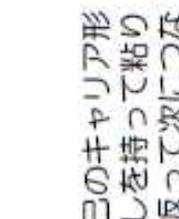
深い学び

【対話的な学び】

子供同士の協働、教員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自らの考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

【例】

- ・ 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりすること
で自らの考えを広げる
- ・ あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする
- ・ 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る



生きて働く
知識・技能の
習得

学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・
人間性等の涵養

未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・表現力
等の育成



【深い学び】

各教科等で習得した知識や考え方を活用した、「見方・考え方」を働かせて、学習対象と深く関わり、問題を発見・解決したり、自己の考えを形成したり、思いを元に構想・創造したりする「**深い学び**」が実現できているか。

【例】

- ・ 事象の中から自ら問いを見いだし、課題の追究、課題の解決を行う探究の過程に取り組み
- ・ 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成したりしていく
- ・ 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していく



「信州学」推進事業

教学指導課

1 目的

グローバル化が進む社会において、主体的に生きる力の基礎となり「根」となる、自らが生まれ育った地域の文化・産業・自然を理解し、ふるさとに誇りと愛着を持ち、ふるさとを大切にしている心情を涵養する。

2 内容

(1) 全生徒が共通で取り組む内容

「信州学」テキスト（40 ページ）に基づき、全県立高校 1 年生を対象に実施する。各校の実状に応じて、様々な形で活用できるものとする。

テキストは 2 部構成であり、第 1 部で長野県の歴史・地理・産業・文化などの基礎知識を扱う。第 2 部では、ものづくりや食文化など 10 のトピックをとおして多面的な視点を養い、探究的な学習の導入につなげていく。

トピック例 テーマ：長野ワインが人々を魅了する

内 容：高校のワイン醸造、ワイン特区と東御市、シルクからワインへ、
温暖化と果樹栽培適地の北上

(2) 各校が独自に取り組む内容

平成 27 年度の研究モデル校の実践をもとにして、平成 28 年度から各高校で、地域の特色を生かして独自に取り組む。(位置付けは、総合的な学習の時間、特別活動、学校設定科目等)

・平成 27 年度の研究モデル校（3 校）の実践

主な内容		取組の科目等
長野西	26 年度作成の英語のガイドブックを使用して外国人観光客を対象にガイドを実施。ホームページ等で、長野の魅力を英語で発信。	「コンピュータ・LL 演習」等
蓼科	蓼科学。外部講師や博物館、大学と連携し、立科町に縁のある人々や文化財、地域の歴史や地域学のあり方を学ぶ。「保科百助 実物から学ぶ・鉱物標本」等。	「蓼科学」「地域Ⅰ」「地域Ⅱ」等
塩尻志学館	産官学と連携し、ワインづくりを通して体験的に地域理解を深めるカリキュラムの開発。伝統産業の理解及び関連業界への進路開拓までを「信州学」に位置付。	「ワイン学」「ワイン製造」「微生物」「産業と社会」等

・平成 28 年度に各校で計画されている取組の例

○キャリア教育に信州学の視点を導入し、地域の企業の成り立ちや役割を学ぶ ○地域製品のブランド化と街づくりをとおしたビデオ作成 ○老舗ホテルでの体験型学習を通して、まちの歴史を探究 ○「地域の中の高等学校」をテーマに調べ学習を行い、文化祭で展示発表 ○伝統芸能の学習 ○町の自然ガイド作成 ○学校周辺の古環境を推測

3 平成 28 年度の事業

- (1) 各校が独自に取り組む信州学の実施
- (2) 「信州学」テキストを県内高校の全 1 年生に配付（28 年 6 月）
- (3) 各校の実践報告の集約（29 年 2 月）

長野県公立高等学校の配置図 (平成 28 年度)

「全日制課程および多部制・単位制の設置校配置図」

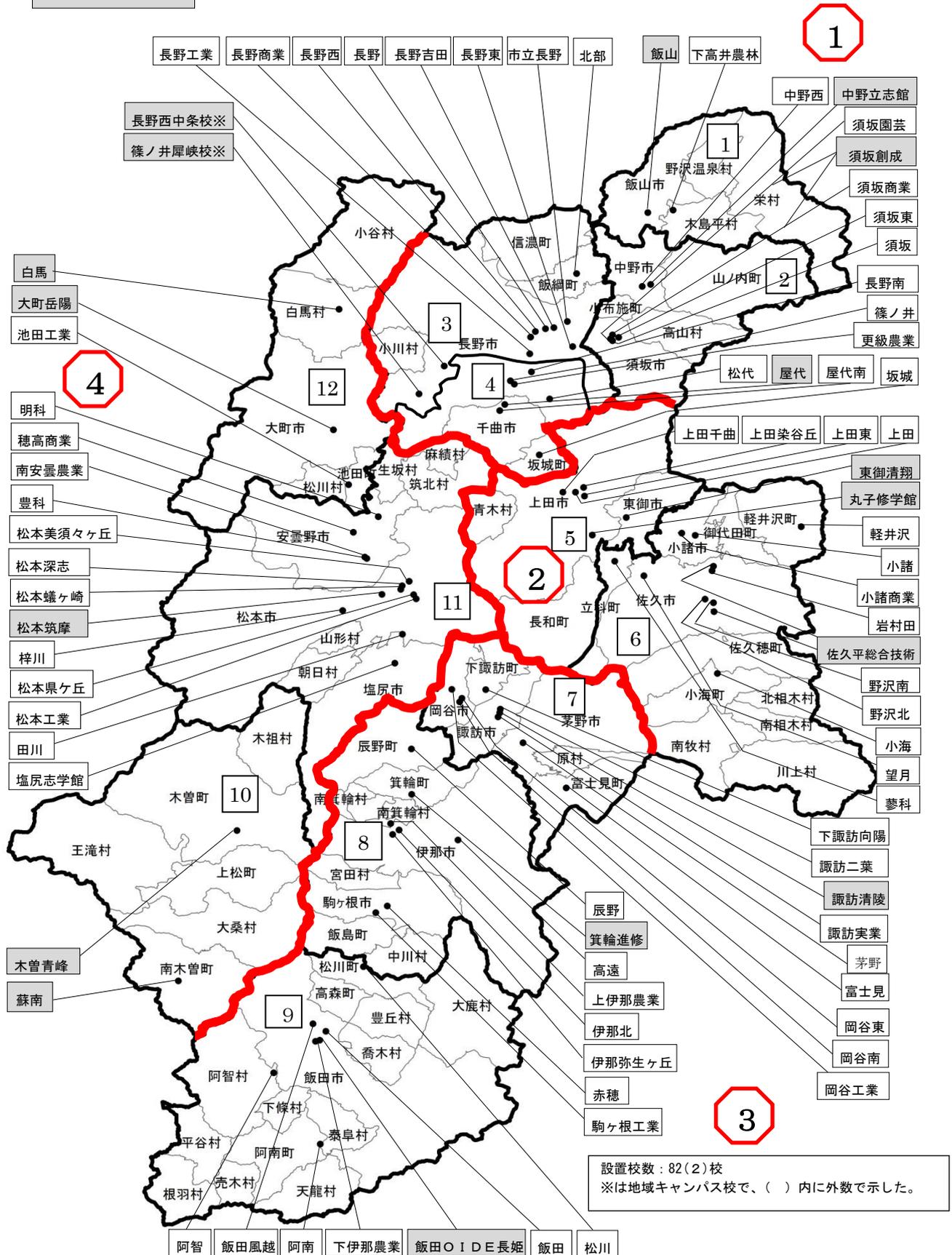


通学区



旧通学区

第 1 期再編対象校

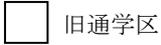


長野県公立高等学校の配置図(平成 28 年度)

「職業教育を主とする専門学科および総合学科の設置校配置図」

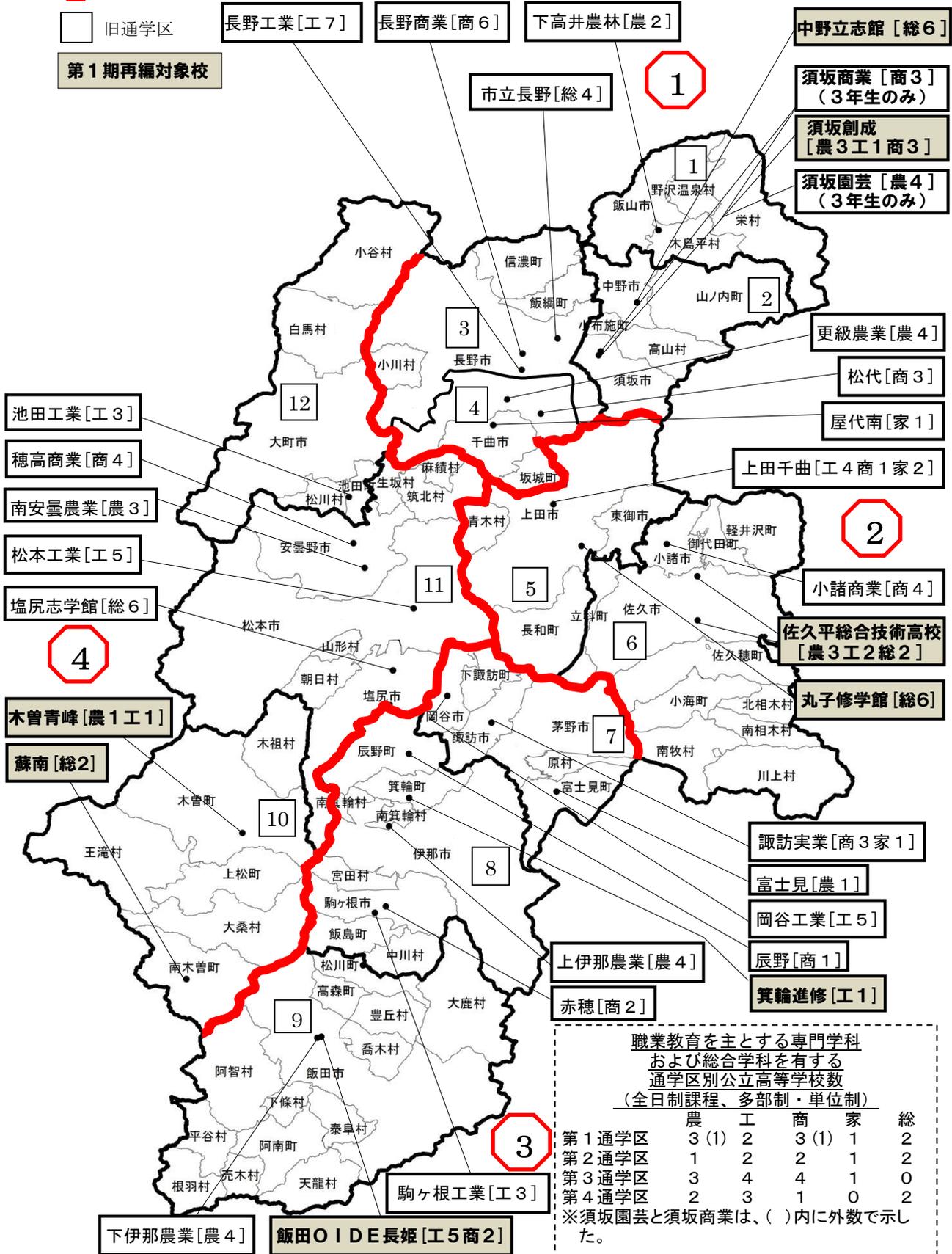


通学区



旧通学区

第 1 期再編対象校



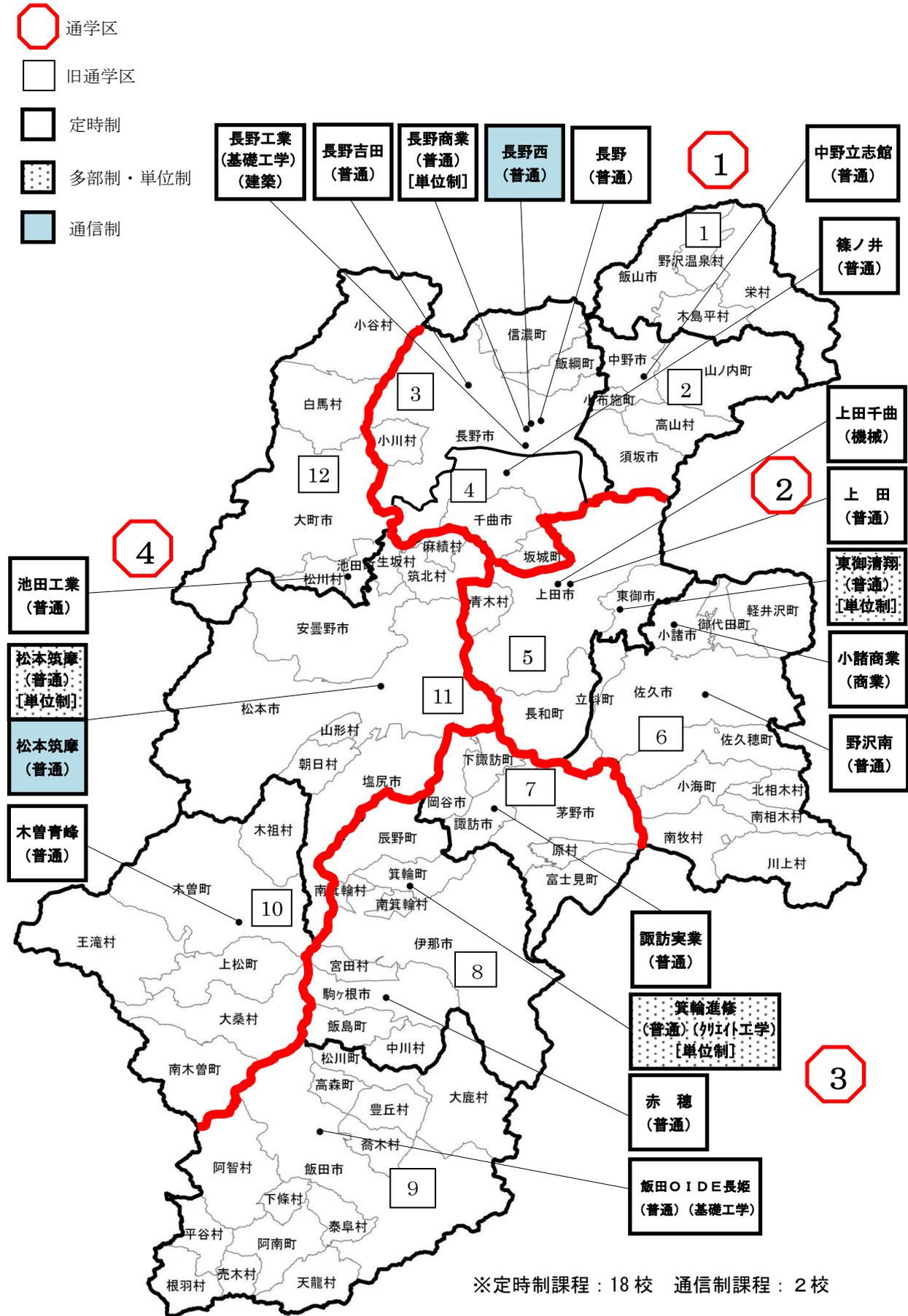
職業教育を主とする専門学科
および総合学科を有する
通学区別公立高等学校数
(全日制課程・多部制・単位制)

	農	工	商	家	総
第 1 通学区	3 (1)	2	3 (1)	1	2
第 2 通学区	1	2	2	1	2
第 3 通学区	3	4	4	1	0
第 4 通学区	2	3	1	0	2

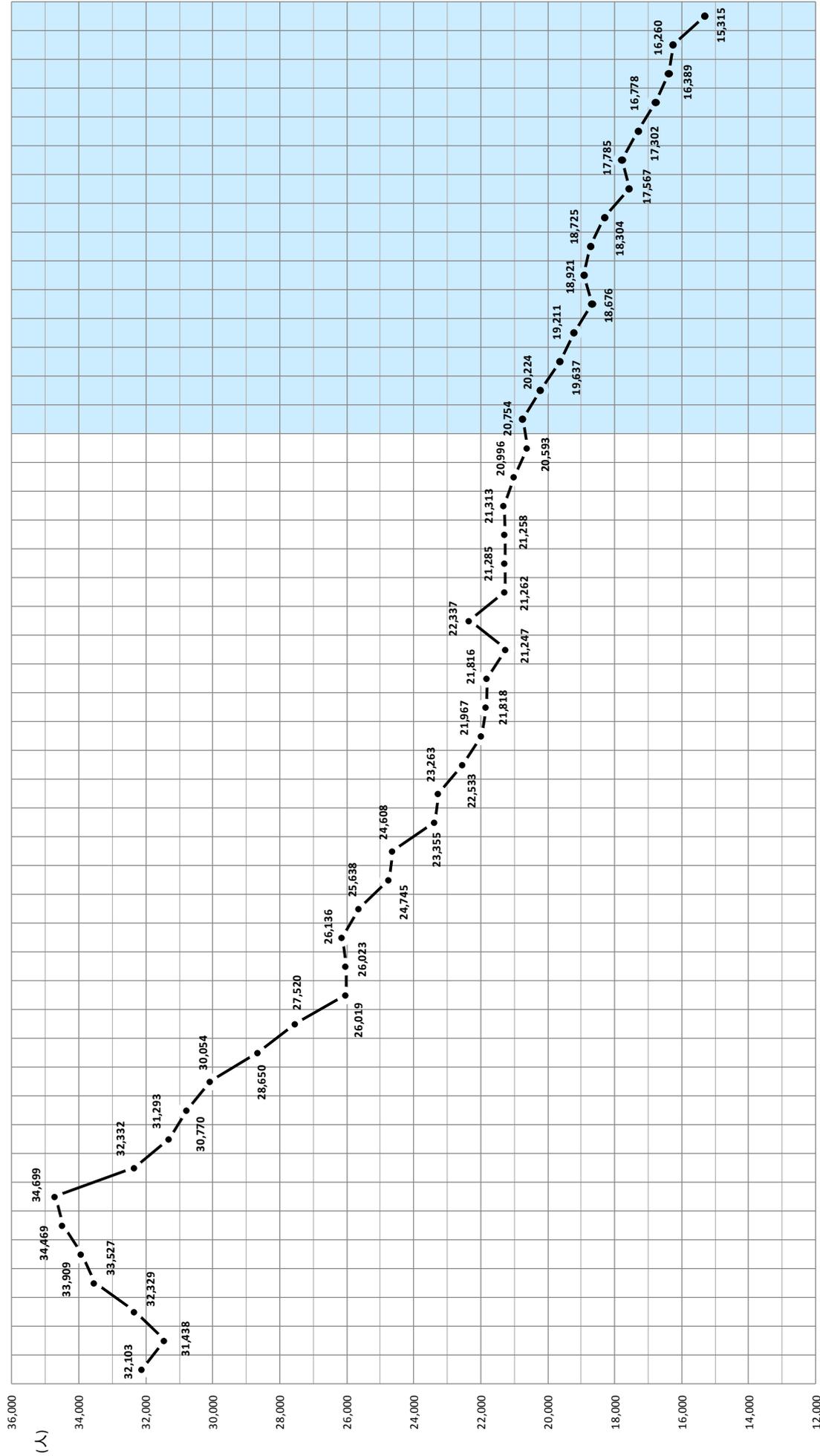
※須坂園芸と須坂商業は、()内に外数で示した。

長野県公立高等学校の配置図(平成 28 年度)

「定時制課程(多部制・単位制含む)・通信制課程の設置校配置図」



長野県内中学校卒業予定者数の推移



年	59	60	61	62	63	H元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
---	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(注1) 平成28年までは前年度学校基本調査の中学3年生の数
 (注2) 平成29年～平成37年までは、平成28年度学校基本調査により予想される数
 (注3) 平成38年以降は、平成28年4月の長野県人口異動調査により予想される数

長野県公立高等学校募集学級数別一覧（平成29年度全日制課程）

通学区	学級数	1 学級	2 学級	3 学級	4 学級	5 学級	6 学級	7 学級	8 学級	学校数計	学級数計
第 1 通学区	第 1 区		下高井農林(農)				飯山 (普3、探究2、スポ1)			2	8
	第 2 区						中野立志館(総) 中野西(普) 須坂東(普) 須坂(普)	須坂創成 (農3、工1、商3)		5	31
	第 3 区	長野西中柔校(普)※ 篠ノ井犀峽校(普)※		北部(普)	[市立長野(総)]		長野西(普5、国際1) 長野商業(商) 長野東(普) 篠ノ井(普)	長野吉田(普) 長野(普) 長野工業(工) 歴代(普6、理1)		8 (2)	46 (2)
	第 4 区			歴代南(普2、家1)	更級農業(農) 坂城(普)	長野南(普) 松代(普2、商3)				7	34
計	(2)	1	2	3	2	9	5	0	22(2)	119(2)	
第 2 通学区	第 5 区						丸子修学館(総)	上田千曲 (工4、商1、家2)	上田(普) 上田築谷丘 (普7、国際1) 上田東(普)	5	37
	第 6 区		望月(普)	蓼科(普) 軽井沢(普) 小海(普)	小諸商業(商)	岩村田(普) 野沢北(普4、理1) 野沢南(普)	小諸(普5、音1)	佐久平総合技術 (農3、工2、総2)		10	43
	計	0	1	3	1	3	2	2	3	15	80
	第 7 区			富士見(普2、農1) 茅野(普)	阿谷東(普)	諏訪実業(商4、家1) 下諏訪向陽(普) 岡谷南(普) 岡谷工業(工)	諏訪清陵(普) 諏訪二葉(普)			9	42
第 3 通学区	第 8 区			高遠(普) 駒ヶ根工業(工)	辰野(普3、商1) 上伊那農業(農)		伊那北(普5、理1) 伊那弥生ヶ丘(普) 赤穂(普4、商2)			7	32
	第 9 区			阿智(普) 阿南(普)	松川(普) 下伊那農業(農)		飯田風越 (普5、国際1)	飯田(普6、理1) 飯田OIDE最姫 (工5、商2)		7	34
	計	0	0	6	5	4	6	2	0	23	108
	第 10 区				木曾青峰(普1、理1、 農1、工1)					2	6
第 4 通学区	第 11 区			南安豊農業(農)	梓川(普) 明科(普) 穂高商業(商)	松本工業(工)	塩尻志学館(総) 田川(普) 豊科(普)	松本美須ヶ丘(普) 松本県ヶ丘 (普7、英1) 松本深志(普) 松本鎌ヶ崎(普)		12	69
	第 12 区		白馬 (普1、観光1)	池田工業(工)			大町岳陽 (普4、学究2)			3	11
	計	0	2	2	4	1	4	1	3	17	86
学校数計	(2)	4	13	10	21	10	10	6	77(2)	393(2)	
構成比		5.2	16.9	13.0	27.3	13.0	13.0	7.8	100.0		

(注)※は地域キャンパス校で、()内に外数で示した。